

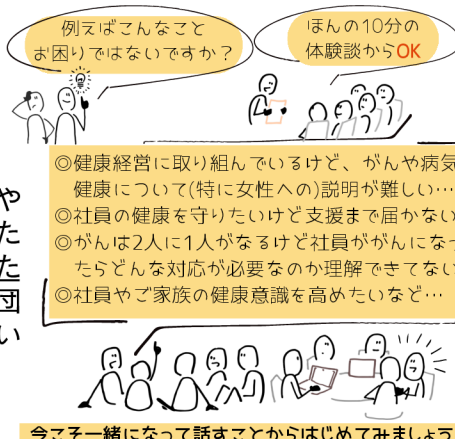
それぞれの体験で創る未来

健康教育に取り組んでいる団体企業の皆様
私たちが体験した治療と仕事の両立支援で
皆様のお役に立てたら嬉しいです。

👉 **がん患者の3人に1人は20歳から64歳の働く世代にがんにかかる時代です**

職場のがん対策は進んでいますか？ 大人にもがん教育は必要です。

確かながん情報を得ることが大切な時代になりました。
がんサミットチームでは、山口県のがん患者・その家族や
友人・企業・学校等の組織や個人が集まる場をつくりたい。
その場で多様な意見を出し合いがんの課題を解決したい
と考えています。構成するメンバーは、がん患者支援団
体やがん患者の家族など健康増進を図る団体に関わってい
る個人が発起人になっています。この輪が広がって
「社会に提言できる県内初の組織」が誕生しました。



👉 **乳がんの経験から“一人で悩まないで”と女性に向けて伝えています**

しゅくたにみえこ
宿谷三恵子さん

乳がん体験者：防府リボンの会

乳がんを経験して防府リボンの会を設立しました。防府市を中心に乳がん患者さん及びそのご家族に精神的・身体的苦痛や不安を分かち合える会を開催してきました。今は、若い世代にも乳がんが増えているので、女性特有のがんのセルフチェックやがん検診の大切さを啓発活動に参加しながら新代表と一緒に伝えています。

👉 **夫の看病経験から“こころとからだの健康”と家族の想いを紡いでいます**

ふなざきみちこ
船崎美智子さん

患者遺族：ライフスタイル協同組合

夫ががん患者となり、妻として寄り添ってきたことでがんに対する考え方がかわりました。夫の望みでもあった「がんで悲しむ方を減らしたい」という願いから山口県内でがんに関する活動に関わってきました。女性を支援する仕事から、山口県の検診受診率が低いこと、特に女性の働く環境にも改善を問いかけています。



👉 **リレー・フォー・ライフとの出会いから“がん征圧”に取り組んでいます**

くにみつゆみこ
國光由美子さん

乳がん、甲状腺がん体験者：RFLJやまぐち

乳がんを経験して自分の気持ちの整理にブログを始めいろんな方とつながりました。リレーの使命であるSave Lives(セーブライブズ)は3つのテーマ「祝う」「しのぶ」「立ち向かう」に支えられ成り立っています。自分も地域全体でがんと向き合い助け合いをしています。県内で開催されるがんを語り歩くイベントに是非ご参加ください。

